

平成21年6月定例議会

# こんちちは 魚沼市議会 No.23 です



うおぬまふれあい夏の雪まつり

定例会・市長行政報告・  
補正予算・魚沼市経済危機対策概要 …… 2～3ページ  
議案賛否の状況 …………… 4～5ページ  
一般質問 …………… 6～11ページ  
常任・特別委員会報告 …………… 12～13ページ  
市民の声・あしがき …………… 14ページ

発行責任者 議長 星 謙 一 広報委員長 大屋 角 政 副委員長 森山 英 敏  
委員 遠藤 徳 一 渡辺 一 美 高野 甲子雄 本田 篤

# 22億8,350万円を追加

## 市長行政報告

### ●市制施行5周年記念式典等について

6月14日に小出郷文化会館で開催、約500の方が出席。また「響きの森公園」内で「魚沼市民祭」が開催され、約15,000人の市民の皆様から参加いただいた。

### ●市定額給付金給付事業について

4月22日から給付開始、6月30日現在申請済及び、給付完了13,241世帯、給付額6億5千247万円、給付率97%となっている。

### ●復興基金事業（農業用水源確保対策事業等）について

4月以来新たに調査を追加し継続して実施している。調査がすべて完了するまでには、なおしばらく時間を要する。

調査結果の公表については、復興基金側は部分公表を差し控えたいとの考えで、市としても早期決着に向け、基金との統一的な見解をもって公表したい。

### ●水の郷工業団地について

立地に向けて最終調整の段階に入っているが、企業の意向により最終決定まで「社名の公表」は一切しない、出来ないことを申し合わせているのでご理解いただきたい。

### ●プレミアム商品券発行補助事業について

2万冊を完売した。7月10日現在換金率54.9%となっており、有効期限は9月30日までとなっている。

### ●国道17号浦佐バイパス工事について

国土交通省では3月に凍結した全国18路線のうち、浦佐バイパスを含む14路線の凍結を7月7日に解除した。

### ●ときめき新潟国体について

10月2日から5日までの4日間、9人制バレーボール会場となっており、市バレーボール協会、市観光協会、市内の各自治会から多くの協力をいただきながら取り組みを進めている。

### ●中学生・高校生海外交流事業の中止について

世界的に新型インフルエンザがまん延していることから、参加する生徒の健康に配慮して平成21年度は中止することに決定した。

### ●消防業務等について（平成21年1月から6月末まで）

火災出動11件で前年比3件減（負傷者2名で前年比1名増）、救急出動666件で前年比24件減、救助出動27件で前年比1件増である。

### ●行政組織の一部見直しについて

市長公室の機能と体制強化のため、8月1日付で総務課企画調整室を市長公室に統合する。

### ●新潟県地域ニューディール基金事業について

養護老人ホーム南山荘のエコ改修事業が、新潟県の地域グリーンニューディール基金事業に採択、内示された。予算措置は9月定例会時に予定している。

## 6月定例会

平成21年第2回（6月）定例会は6月に市議会議員選挙があり、7月13日から7月28日までの16日間の会期で開催されました。

初日、市が50%以上出資している8つの第3セクターの経営状況が報告され、その後総額22億8千350万円の一般会計補正予算と1件の特別会計、3件の企業会計の補正予算が提出され、審議可決しました。

特にこの度の一般会計補正予算では、市に予算がなく以前から懸案だった建物の解体をはじめ、各地域から要望があった用水、側溝、道路等の改良や消雪施設の一部を更新します。また各小中学校の図書館に冷房を設置し、地上デジタルテレビを各階一台設置するなど教育現場の設備を充実させます。この他にも里山整備事業、雇用・金融対策事業、インフラ整備・光ファイバー網整備工事など市民の皆様のお役に立つ多くの事業が政府の経済危機対策臨時交付金及び公共投資臨時交付金をうけて盛り込まれました。

21・22日に行われた注目の一般質問は今定例会より質問する議員と市長はじめ市当局が向き合う対面式に変更され、新人9人を含む18人が登壇しました。

28日には各委員会の報告があり、初日に各委員会に付託された1件の請願を採択、2件の条例一部改正、道路線の認定・変更・廃止を可決しました。その後、財産（地域バイオマス利活用施設備品）の取得、ごみ焼却設備大規模改修工事請負契約の締結について、慎重かつ活発に審議が行われ、それぞれ可決しました。

# 一般会計 補正予算 経済危機対策等で

## 6月定例会補正予算

(単位:千円)

会計名		補正前の額	補正額	計	説明	
一般会計		27,805,000	2,283,500	30,088,500	経済危機対策臨時交付金事業等	
老人保健特別会計		19,005	542	19,547	支払基金への精算・返還金	
企業会計	病院事業	収益的収支	922,000	7,200	929,200	経済危機対策臨時交付金を活用した新型インフルエンザ発熱外来設置・運営事業
	水道事業	収益的収支	452,000	3,500	455,500	経済危機対策臨時交付金を活用した水道未普及地域解消対策事業
		資本的収支	346,000	7,000	353,000	水道本支管新設工事費
	下水道事業	資本的収支	3,457,000	69,550	3,526,550	経済危機対策臨時交付金を活用した下水道未普及地域解消対策事業

## 魚沼市経済危機対策の概要(平成21年7月)

### ■ 経済危機対策臨時交付金

(単位:千円)

分野別	取組概要	事業費	財源内訳				
			国庫補助金	交付金	県支出金	分担金等	一般財源
① 地球温暖化		77,400		59,000			18,400
(1) 太陽光利用	太陽光発電を活用した街路灯の普及	30,000		24,000			6,000
(2) 公用車更新	低公害車への更新	27,400		22,000			5,400
(3) 森林整備	造林、保育のほか間伐木材の活用	20,000		13,000			7,000
② 少子高齢化社会対応		89,850		69,000	4,330		16,520
(1) 子ども支援	スクールバス更新や学童保育の充実、保育施設の改修	71,850		54,000	4,330		13,520
(2) 高齢者支援	高齢者利用施設の改修	18,000		15,000			3,000
③ 安全・安心の実現		783,050		571,694		7,988	203,368
(1) インフラ整備等	道路、水道などのインフラ整備のほか公共施設の改修	359,150		287,694		5,488	65,968
(2) 雇用・企業等支援	中小企業向けの融資枠の拡大や雇用対策	233,900		125,000			108,900
(3) 小規模工事(地域要望)	道路の舗装修繕や農業用水の改修	190,000		159,000		2,500	28,500
④ その他		418,400	113,750	260,800			43,850
(1) 施設の解体	老朽化に伴い危険度の高い公共施設の解体撤去	200,500		159,000			41,500
(2) その他	学校の地上デジタル化対策	217,900	113,750	101,800			2,350
計		1,368,700	113,750	960,494	4,330	7,988	282,138

### ■ 公共投資臨時交付金

(単位:千円)

事業名	事業概要	事業費	財源内訳				
			国庫補助金	交付金	県支出金	分担金等	一般財源
地域情報通信基盤整備事業	光ファイバー網の整備と地上デジタル化対策	585,000	195,000	351,000			39,000
携帯電話等エリア整備事業	携帯電話基地局の整備	15,000		2,700	12,000		300
下水道長寿命化対策事業	マンホールポンプの更新や不明水のカメラ調査	33,000	16,500	14,800			1,700
計		633,000	211,500	368,500	12,000	0	41,000





# 6月定例会 議案賛否の状況

## ◎議案

表中の記号について  
○=賛成 ×=反対 -=欠席  
(※議長は議案議決に加わりません。)

議案番号	議案内容	会派	議員氏名
		採決結果	
議案第72号	平成21年度魚沼市一般会計補正予算（第2号） 経済危機対策臨時交付金等により増額補正（22億8,350万円）する	原案可決	
議案第73号	平成21年度魚沼市老人保健特別会計補正予算（第2号） 支払基金への精算・返還金	原案可決	
議案第74号	平成21年度魚沼市病院事業会計補正予算（第1号） 経済危機対策によるもの、新型インフルエンザ対策	原案可決	
議案第75号	平成21年度魚沼市水道事業会計補正予算（第1号） 経済危機対策によるもの、赤土2号線水道管布設	原案可決	
議案第76号	平成21年度魚沼市下水道事業会計補正予算（第1号） 経済危機対策によるもの、赤土下水管布設、堀之内マンホールポンプ更新	原案可決	
議案第77号	魚沼市放課後児童健全育成事業実施に関する条例の一部改正について 小出第二つくしクラブを小出北部、広神よつばクラブを広神東に名称変更と広神西よつばクラブを新設	原案可決	
議案第78号	魚沼市高齢者福祉センター条例の一部改正について 入広瀬老人福祉センターやすらぎ苑を廃止	原案可決	
議案第79号	魚沼市水道条例の一部改正について 簡易水道設置者に対する監督事務の権限移譲に伴う改正	原案可決	
議案第80号	魚沼市道路線の認定について 堀之内皇大神の道路を市道として認定する	原案可決	
議案第81号	魚沼市道路線の変更について 電莞入り口道路の寄付採納による起点の変更	原案可決	
議案第82号	魚沼市道路線の廃止について 県道大石吉水線へ移管するため廃止	原案可決	
議案第83号	財産（ロータリ除雪車）の取得について ロータリ除雪車2.2m級の更新	原案可決	
議案第84号	財産（ロータリ除雪車）の取得について ロータリ除雪車2.2m級の更新	原案可決	
議案第85号	財産（小型除雪車）の取得について ロータリ除雪車1.3m級2台の更新	原案可決	
議案第86号	財産（消防ポンプ自動車）の取得について 消防ポンプ車の老朽化（16年経過）による更新、災害対応型特殊消防ポンプ車購入	原案可決	
議案第87号	人権擁護委員候補者の推薦について 須原 酒井正男氏（再任）	適任	
議案第88号	人権擁護委員候補者の推薦について 大栃山 浅井嘉代子氏（再任）	適任	
議案第89号	財産（地域バイオマス利活用施設備品）の取得について 有機センターで自走式マニアスプレッド5台等を購入	原案可決	
議案第90号	ごみ焼却設備大規模改修工事請負契約の締結について 老朽化により3億3,600万円の大規模改修を行なう	原案可決	
発議第12号	地域医療対策調査特別委員会の設置について 地域医療の諸問題について調査するため設置	原案可決	
発議第13号	庁舎再編整備調査特別委員会の設置について 市民の利便性、行政効率の向上を図る庁舎整備を検討するため設置	原案可決	
発議第14号	復興基金事業調査特別委員会の設置について 中越大震災復興基金水源確保支援事業にかかる状況を調査するため設置	原案可決	
発議第15号	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率2分の1復元を初めとする教育予算の充実を求める意見書の提出について 30人以下学級の実現や教育予算の拡充等により、豊かで行き届いた教育が実現されるよう意見書を提出	原案可決	
選任第5号	地域医療対策調査特別委員会委員の選任について	選任	
選任第6号	庁舎再編整備調査特別委員会委員の選任について	選任	
選任第7号	復興基金事業調査特別委員会委員の選任について	選任	
請願第5号	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める請願書	採択	

一般質問 (通告順)

入院できない  
小出病院でいいのか



住安 孝夫 議員

答

外来患者の入院は医師が病状を判断して決定するものである

問 医療整備協議会の「地元案」によると、「新小出病院」の病床はすべて基幹病院から転院してくる患者のためであった。入院が必要になった患者を受け入れるベッドではないことが明らかだ。こんなことで魚沼市の住民の医療が守れるのか。

答

基本的に基幹病院退院後の回復期や在宅医療を支える中心的な医療機関として重要な役割を担うことになるため、外来患者の入院機能があるか否かについては、二次医療の機能の有無をもって判断することはないと思っている。

問

「庁舎一本化」は市民の声ではない

市長は、公約どお

り新庁舎はつくらないが一本化は急ぎたい、と言っているが、それは行政側の都合であって市民の要望ではないのではないかと

答

「新庁舎は造らない」とした考えは、魚沼市の厳しい財政状況を勘案し、今、新庁舎建設に多額の財源を投入すべきではないと考えたものである。現在の分庁舎方式については、財政面から

も決して経済的・効率的とは言えず、出先機関における窓口サービスや地域コミュニティに対する支援機能について十分検討しながら庁舎の一本化に向けて早期に対応したいと考えており、今後市民の皆様のご意見を聞く機会を設けたいと考えて

調査終了後、結果を  
公表する考えはあるか



大屋 角政 議員

答

実態説明後、調査結果を公表したい

問 復興基金による水源確保事業について、再調査が終了した段階で、調査結果の公表を考えたか。また、解決が長引くほど市の責任は重いものになるのではないかと

答

調査期間中の部分公表は差し控えたいという復興基金側の考えをご理解賜りたい。調査がこれ以上長引くことは避けたいと考える。

また、行政側の責任は、調査結果やこの間の経緯を踏まえたうえで、慎重かつ適正に対応したいと考える。

答

現段階では、対象年齢の引き上げや医療費

問

子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大する考えはないか。

答

新しい取り組みも含めた中で検討を行い、地域・市民に密着した商店街活性化のための支援策は講じていきたいと思う。

問

商店街活性化事業の一律補助金カットは止めるべきでないか。今後どうしていくのか。

答

経済対策で制度設計の根幹に切り込むことは、将来負担に対する国民的理解を失いかねないため、一律に負担を軽減するようなことは現段階では考えていない。

問

国保税など市民負担の軽減を行う考えはないか。

助成制度の拡充については、今後の検討課題とさせていただきます。

庁舎のあり方について



星 孝司 議員

答

それぞれの地域の実情に配慮し検討していきたい

問

1 新庁舎建設以外の方法で、どう主庁舎を一本化するのか。  
2 新庁舎はつくらないという考えは、位置をどこに想定しているか。

答

1 既存施設の活用を前提に、既存施設で面積が不足する場合は増築等も検討し進めたい。  
2 現在職員のプロジェクトチームにより様々な角度からの検討を進めている。

答

1 診療科の数については、医師確保対策や運営母体と密接不可分な関係にあり、一般初期医療における具体的な部分については今後の検討課題と捉えている。

答

2 医師派遣の仕組みづくりを新潟県に求めていき、地元案にそって経営形態、運営母体について検討を深めながら、診療科、医師確保対策についても明らかにしていく必要があると考える。

魚沼基幹病院設置後の小出病院、堀之内病院のあり方について

問

1 知事に要望した新小出病院の診療科目について、なぜ新六日町病院、新大和病院より縮小したか。  
2 医師確保はどうするか。  
3 堀之内病院はどうするか。

答

今後地域医療を検討するなかで明らかになると考える。  
4 新潟大学等との連携や医療関係者と協力しながら医師確保に努めていきたいと考える。

# 復興基金

## 井戸掘り事件について



大桃 聡 議員

**答** 早期解決に向け、復興基金側と連携して調査に当たっている

**問** 復興基金事務局の調査を待つなど聞かされてくるが、現在の調査の進捗状況、今後の見通しは。

**答** 該当井戸177件すべての現地調査、確認作業が終了している。井戸の深度調査は30本の井戸について確認作業が終了した。現在は工事費調査として約80件について復興基金と魚沼市で調査を実施している。

**市職員の給与について**

**問** 高すぎる人件費を下げるつもりはあるのか。

**答** 期末手当と合算で支給された勤勉手当の額を決める勤務成績の評定制度はいっ導入するののか。

**答** 人事院勧告や県内の情勢等を注視しながら総人件費の抑制に努めたいと考える。



榎本 春実 議員

**答** 業者選定は可能な限り地元業者を優先している

## 地元優先型の発注をせよ

**問** 国の経済危機対策を受け、臨時交付金など合わせ22億8、350万円の補正予算が可決されたが、このまたとないチャンスを機に、地元優先型の発注をせよ。

**答** 業者選定に当たっては、地域経済の伸展や地元業者育成の観点から、可能な限り地元業者を優先しているが、発注案件の特殊性、取引実績との関連性などにより、やむなく準市内または市外業者をお願いせざるを得ない場合もあることをご理解いただきたい。

発注方法については、



関矢 孝夫 議員

**答** 現在交渉を継続している企業は約20社であるが：

# 水の郷工業団地の

## 現状について

**問** 市長の所信表明に「水の郷工業団地は雇用を確保する大きな目的もあるが市税収入の増加にも大きな貢献が期待される」とあるが市側と進出交渉を行なっている企業数、また交渉はどの程度進んでいるのか。工場の建設はいつから開始出来るのか。どのくらいの雇用確保と市税収入の増加を見込んでいるのか。進出企業への優遇処置はどのようなものがあり、市税収入にどのように関わってくるのか。

**答** 市税については、工場用地、建物及び機械設備にかかる固定資産税が3年間課税免除され、魚沼市においては対象資産に係る固定資産税納付額の3分の1相当額が7年間、補助金として交付される。

**問** 追加調査が継続されたことと、3調査（現地調査・深度調査・工事費調査）終了後に総合的な判断での公表にしたいという復興基金の意向もあるの、ご理解をいただきたい。

追加調査が継続されたことと、3調査（現地調査・深度調査・工事費調査）終了後に総合的な判断での公表にしたいという復興基金の意向もあるの、ご理解をいただきたい。



# 自殺者ゼロを目指し 当市の施策は



本田 篤 議員

**問** 新潟県は自殺が多い地域である。市レベルでも独自の積極的な介入が必要と考える。自殺者ゼロを目指し、自殺予防に向けた当市の施策を問う。

自殺予防について

**答** 市報に予防関連記事掲載予定である

ええている。反省なき前進は難しいと考える。特に魚沼市財政健全化計画及び魚沼市定員適正化計画の2点について問う。

**答** 財政健全化計画による歳出に対する歳入の不足見込み額が、集中改革プラン行動計画における目標額となっており、国の方針も、昨今の経済危機に対しての経済対策が最優先課題となつた現状を踏まえ、本年度3月までに策定したい。

**問** 7月号の市報に「今からできる心の健康づくり」と題してメッセージを掲載し、自殺予防期間である9月から5カ月連続して自殺予防関連記事を掲載する予定である。また、関連する講演会を2回予定している。

各種計画の更新について

**問** 合併後に定めた各種計画が更新の時期を迎

えている。反省なき前進は難しいと考える。特に魚沼市財政健全化計画及び魚沼市定員適正化計画の2点について問う。

次定員適正化計画は、平成17年度を基準年とした10カ年計画で、前期5カ年の削減目標が106%の達成見込みであること等踏まえ、後期5カ年計画を本年度中に策定する。

# 市独自の緊急景気・雇用対策は



五十嵐昭夫 議員

**問** 国県とも財政再建を棚上げして財政出動をかけている。国は経済危機対策に1兆円の交付金を計上、県も1千億超の追加補正を組み、景気刺激と雇用維持に躍起である。有効求人倍率0.21と県内ワースト1位の当市、仕事が消え、雇用が激減している。

国県とも財政再建を棚上げして財政出動をかけている。国は経済危機対策に1兆円の交付金を計上、県も1千億超の追加補正を組み、景気刺激と雇用維持に躍起である。

**答** 企業支援と離職者対策は最重要課題と考える

有効求人倍率0.21と県内ワースト1位の当市、仕事が消え、雇用が激減している。

地元企業の経営不安、住民の雇用、生活不安を解消すべく、国県に準ずるだけでなく、市独自の対策を望む。今力ネを使わないでいつ使うのか。有事の際には「ない袖もふるべき事、不可欠と考えるが。

**問** これまで市独自の支援として、企業が借り入れる制度融資の利子補給や保証料の補給、新たな市場創出のための技術・商品開発への支援や販路拡大に向けた支援を

行ってきた。中でも雇用環境の改善は喫緊の課題として受け止め、新規雇用を創出した場合への助成制度、国の休業補償への上乗せ補助、商工業者等が行う従業員への教育訓練等への助成制度等を創設した。

更に金融対策においては、市の制度融資(中小企業景気対策特別資金)枠を拡大するとともに、県融資制度に対する保証料補給率の拡充を行うなど、企業への支援策を強化している。

**問** 有効視される「雇用調整助成金」の利用状況は。

南魚沼公共職業安定所管内全体では5月の申請件数205件、支給状況117件、このうち魚沼市管内分は約半分程度と聞いている。

# 「かえよう・かわろう魚沼市」を目指すために



佐藤 雅一 議員

**問** 魚沼市は、市として誕生し、本年度5周年を迎えた。これまでは震災復興に取り組んで来た所である。

魚沼市は、市として誕生し、本年度5周年を迎えた。これまでは震災復興に取り組んで来た所である。

**答** 市民との意見交換を行い、市政に反映したい

市長は、「かえよう・かわろう魚沼市」を掲げ、

「創造から再生へ」「市民目線・市民感覚」を視点到地域力の向上による新生魚沼市の建設に取り組むと公約している。

市長は選挙公約を実現させるため、これからの市政運営には住民ニーズの調査が不可欠であると考えるがどうか。

**答** 市民協働の行政運営を進めるためには、情

報公開や市民の意見を聞く広聴活動に取り組む必要があることは、いうまでもない。現在も、「市長への手紙」、「市政モニター」を実施しているほか、各種計画策定時には広く市民の皆さんからパブリックコメントをいただいている。今後も市民の各層の方々と意見交換を行い、市政に反映していきたいと考えている。



# 新税の検討について



下村 浩延 議員

**答** 自主財源を確保する一つの方策としての提案である

**問** 1 都市計画税を課税している市は、どのように市民の理解を得たのか。

2 環境税・水源税は他の水源地の市町村と連携して、県に訴えたらどうか。

**答** 1 一般的には土地画整理事業や下水道事業など、都市計画事業を実施する際、或いは実施に伴う起債償還の財源に充当するため、受益者負担を求めたものと考えられる。

2 広域的な課題と捉え、都道府県単位で県民税等の上乗せという形で実施しているところもある。「全国森林環境・水源創設促進連盟」や新潟県などと連携を図りながら、その取組みを進めてまいりたい。

**問** 遊園地の設置について  
堀之内の中心地区

に遊園地がなくなつたが、新たな遊園地の設置はできないか。

**答** 新たに設置する場合も児童遊園、広場等の維持管理は各自治会等に管理をお願いすることになる。

**問** 堀之内駅の南口開設について

**答** 駅南の住民は駅に南北の通路もなく難渋している。早期の南口開設に真剣に取り組んで欲しいかどうか。

**答** 現時点では、市の財政状況やJRとの協議などを考慮すると整備には相当な時間と多額の経費が必要なことから、早期の着手は現状では困難と考えている。

# 地球温暖化防止のための政策について



佐藤 肇 議員

**答** 省エネ呼びかけと新事業による補助の実施を行っている

**問** 国が国際間で約束した地球温暖化防止のためのCO2削減目標は、市民生活に直結する問題である。現在目標達成に向けた市の取り組みとは何か。今後、再生可能な自然エネルギーに転換していくための戦略的政策は何か。

**答** 国が国際間で約束した地球温暖化防止のため、CO2削減目標は、市民生活に直結する問題である。現在目標達成に向けた市の取り組みとは何か。今後、再生可能な自然エネルギーに転換していくための戦略的政策は何か。

**問** 本年度は薪ストーブ等の購入助成等を予算化し、雪冷熱エネルギーを利用した住宅助成、CO2対策として山林の間伐事業にも取り組んでいる。今後の新エネルギーの導入については、慎重に検討する必要があると考える。

**答** 本年度は薪ストーブ等の購入助成等を予算化し、雪冷熱エネルギーを利用した住宅助成、CO2対策として山林の間伐事業にも取り組んでいる。今後の新エネルギーの導入については、慎重に検討する必要があると考える。

**問** 市が各地域に立ち

地域コミュニティ組織の位置づけについて

**答** 複数の自治会で組織し、集落機能の低下を補い、住民の目に届く大きさの自治組織を目指している。将来的には、自らの計画に基づきまちづくりを実践するとともに、まちづくりに必要な権限と財源を持ち、市民自治によるまちづくりを行うことが可能な団体と位置づける。

市の担当課及び地域復興支援員を配置し、設立に向けたお手伝いや必要経費の助成を行う。

# 各課連携で少子化に歯止めをかける対策を



渡辺 一美 議員

**答** 総合的な対策を盛り込んだ計画づくりを進める

**問** 1 未就学児童、乳幼児の医療費無料化の検討を。

2 第3子以降の子どもに手厚い政策として保育料の減免や給食費への助成などを考えてみては。

3 女性の健康を守るため「女性特有のがん検診推進事業」を導入し、早期に検診手帳と無料クーポン券を配布できるように準備を急げ。

4 子宮頸がん予防ワクチン、乳幼児の細菌性髄膜炎予防ヒブワクチンへの公費助成の検討を。

しているが、今後の検討課題とする。

3 国の対策を受け、魚沼市としてもなるべく早い時期に事業を導入できるように準備をすすめている。

4 子宮頸がんワクチンの導入は具体的な検討に入る。ヒブワクチンは今後の国等の動向を見た中で対応していきたい。

**問** 害虫(蚊)対策について

**答** 近年蚊の被害が多くなってきたが、市民の健康を守る為、原因調査の検討を。

**答** 1 今後医療費全体の増加にも配慮しながら検討させていただく。

2 当面現行どおりに行かせていただきたいと思います。

一般質問 (通告順)

市民と行政が協働する  
まちづくりへの取り組み



遠藤 徳一 議員

**答** 市民協働を意識して執行される方向を模索している

**問** 市長の所信、魚沼市行政改革大綱にもあるように、コミュニティ組織の構築をはじめとした市民活動を担うNPOやボランティア団体を支援しながら自助、互助、共助によるまちづくりを進め、地域力の向上に努めなければならぬと思いが具体的にごう取り組むかを問う。そして、今現在地域活動を実施している団体への支援とはなにか。今後はその他の地域活動団体へも支援していただけるか。

**答** 市内で活動を行っている各種団体の支援については、分野別の財政的な支援や各種相談窓口として機能している。今後も新たに設立するNPO団体等については引き続き支援していくこととし、地域による仲間

通学路の整備と  
横断歩道の設置について



星野 武男 議員

**答** 要望箇所の早期設置・整備に向けて働きかける

**問** 歩道の整備されていない通学路が各地に見受けられ、非常に危険な状況にある。子供達の命に関わる大問題なので、早急に通学路の整備と横断歩道の設置が必要と考えるが。

**答** 横断歩道の設置については、今後も要望箇所の早期設置に向け関係機関に働きかけていくとともに、交通安全の啓発活動に一層努めていく。歩道の整備については、県は通学路を優先するとの考えであり、その整備のあり方については、地域整備部と市と連携しながら検討していく。

**答** 行政が結婚支援を行うことには限界があると感じている。各種実行委員会など、市民の参加等については、出合いの場となるよう意識して取り組むよう考えていく。

改選議会に対する  
市長の政治姿勢について



森島 守人 議員

**答** 世代交代を感じ、これまでも増して活性化すると期待している

**問** 議会の改選は大きなことであり、場合によっては政策転換も一部有りうるのでは。議会に対してどのような政治姿勢で望み、そして大平市長の目指すものは何か。

**答** 定数が2名削減され、ベテランの議員が後進に道を譲り、新人議員9名を迎えて世代交代を感じている。さわやかな風が吹きぬけ、議会運営もこれまでも増して活性化するものと期待している。

**問** 今後、合併特例債、交付税の見直しによりさらに厳しい財政運営をしなければならぬ。市民にわかりやすい状況分析

をどのような形で行うのか。

**答** 市報うおぬま、ホームページ、市民センター及び図書館における閲覧により公開しているが、公表する内容については、更に検討させていただきます。

**問** 将来の魚沼市の指標である財政健全化計画、平成17年度〜21年度の総括と今後策定する計画の進捗状況と公表時期は。

**答** 財政健全化計画は行革大綱など関連する計画との整合性を図るとともに、国の地方財政対策の動向を見極めながら、平成22年3月までに策定したい。

# 新たな地域医療体制に 誰が責任を負うのか



高野 甲子雄 議員

**答** それぞれの運営母体が  
経営責任を負うことになる

**問** 県の「魚沼基幹病院の基本計画素案」は「医師の確保策」が示されておらず、「運営形態」にも不安がある。

**答** 1 市としての対応は。2 県から財団法人への出資要請はあるのか。3 基幹病院建設費、小出病院改築費等の市への負担はあるのか。4 新たな地域医療に誰が責任を負うのか。財政出動も考えているのか。

**答** 1 細部については今後の検討課題といえる。2 地元自治体に対しての寄付行為の要請の可能性はないと考える。3 無償譲渡をはじめ、整備費や運営費に対して財政支援を求める文書を提出している。4 財政出動は避けて通れない。

**問** 市内小・中学校の統廃合の見通しは。

市内小・中学校の統廃合の見通しは。

**答** 子どもたちにとつてより良い教育環境を構築することを第一に考え、地域や保護者等と協議し、学校通学区域の再編について検討を進めていきたい。

**問** 指定避難所における車椅子用スロープ有無の実態と改善予定は。

**答** 第二次避難所で8施設、福祉避難所で5箇所を設置している。財政状況を見極めながら、当面第二次避難所について検討していきたい。

**問** 鳥獣被害の実態と対策は。

**答** カラス、ニホンザルの被害報告がある。周辺住民に注意看板や回覧文書で周知したり、一部捕獲等も視野にいれて対応していきたい。

# 農業所得確保 (儲かる農業) 対策は



星 吉寛 議員

**答** 食味・品質の向上を  
確保するための  
生産体制の確立を図る

**問** 1 農畜産物の販売低迷等で農業経営は厳しさを増している。担い手確保のためにも市が積極的に農畜産物の販売強化に取り組むべきではないか。

**答** 2 農産物直売所は農家の所得向上に貢献し、地域に活気が生まれる。建設を急ぐべきではないか。

**答** 1 地産地消を含め各種取り組みをしているが、当面、表参道の新潟館ネスパスにおける宣伝活動を検討し、また関係機関、団体を含めた販売戦略の見直しや消費拡大に向けた取り組みが重要と考える。

2 JA北魚沼の考え方を基に関係する団体、機

関、農家等と基本的な部分について計画策定に向けた検討を進めていく。

市税の滞納対策は

**問** 市税の滞納額は年々増加している。

**答** 市税(固定資産税)の滞納実態と滞納整理のための具体的な取り組み状況について伺う。

**答** 市税全般で3億2千万円余りの滞納があるが、その約75%が固定資産税となっている。徴税組織「新潟県地方税徴収機構・魚沼地域特別機

遣し、税務室管理収納班と連携して、滞納処分

# 地域医療の再編と 地域格差是正について



浅井 守雄 議員

**答** 持続可能な形で  
再構築に努める

**問** 市内医療体制に大きな地域格差が生じている、地域に密着した地域医療再編をどのように考えているのか。

とりわけ訪問看護、訪問リハビリなど全域でサービスが享受できる医療体制の構築をどのように考えているのか。

組織機構改革の現状と評価を問う

**問** 組織機構改革がスタートし4ヶ月が過ぎた。政策主導型市政の実現、簡素で効率的な組織機構の実現、市民本位の行政組織の実現などを目指していたが現状と評価を問う。

特に政策主導型市政には厳しい評価があるが市長の認識を問う。

**答** 堀之内病院、守門、入広瀬診療所などについては、市民に身近な医療サービスが後退することがないよう、公営病院が果たす役割を担い、新・小出病院を中心としながら市民にとって保健、医療、福祉サービスが切れ目のない形で提供できるように再構築に努めていきたい。

**答** 成果が現れるには一定の時間が必要と思っ



# 総務文教委員会報告

7月15日

## 審査事件

請願第5号

30人以下学級の実現・義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願書

### 採 択

**問** 魚沼市における、30人以下学級の対象校について。

**答** 小出小学校1年生から6年生まで、堀之内小学校が3年生から6年生の4学年が対象、中学校については広神中学校、湯之谷中学校、小出中学校、堀之内中学校4校が対象となる。

## 調査事件

1 閉会中の調査事件

議長宛申し出ることに



旧入広瀬民俗資料館

し、内容時期は正副委員長に一任した。

2 各種委員を選任した。

3 その他

①災害見舞金支給に関する条例の廃止について  
②まちづくり基本条例の制定について

**問** 総合計画の中のまちづくり基本条例の位置づけは。

**答** 一般的には自治体の憲法と言われ、他の条例

の上位に来るものであり、全ての条例と事業がその縛りにある。



**問** 土地と建物は一括で無償か。

**答** 改築・改修費、さら

には300万円以上の解体費用がかかるため、有効利用していた、たくため、公募により無償譲渡と考えている。

7月16日

## 審査事件

議案第79号

魚沼市水道条例の一部改正について

原案可決

議案第80号～82号

魚沼市道路線の認定・変更・廃止について

原案可決

# 産業建設委員会報告



小出公園の拡張工事予定地

## 調査事件

1 閉会中の調査事件

議長宛申し出ることにし、内容時期は正副委員長に一任した。

2 各種委員を選任した。

3 その他

①小出公園第3期拡張区域の整備について  
計画を見直して着実したい旨の報告があり質疑をした。

②ものづくり協議会との意見交換会について  
今後も継続すること

③有機センターについて  
臭気と粉殻の収集など

④経済不況対策について  
固定資産税の減免など

の質疑をした。



# 福祉環境委員会報告

7月16日

審査事件

議案第77号

魚沼市放課後児童健全育成事業実施に関する条例の一部改正について

原案可決

調査事件

1 閉会中の所管事務等の調査について

閉会中に本委員会が、所管事務調査を行うこととした。

2 各種委員の選任について

魚沼文化自由大楽実行委員に2名  
魚沼市堀之内病院運営審査会委員に2名  
魚沼文化自由大楽実行委員会監事に1名  
それぞれ選出し、議長に報告した。

3 その他

- ①グループホーム、小規模多機能の開設予定事業者等について、またそれらに反映してくる介護保険料などの質疑をした。
- ②県内のインフルエンザの実態と対応について
- ③湯之谷地区の保育三園の統合問題
- ④猿の被害等について質疑をした。



広神農村環境改善センター  
(広神西よつばクラブ  
開設予定施設)

議案第78号

魚沼市高齢者福祉センター条例の一部改正について

原案可決



## 特別委員会設置

7月22日、本会議において継続の重要問題について、特別委員会を設置した。

委員会の構成は次の通りです。

◎ 委員長 ○ 副委員長

委員会名	人数	委員		
地域医療対策調査特別委員会	12人	◎ 佐藤 貞一	○ 佐藤 肇	遠藤 徳一
		佐藤 雅一	高野甲子雄	下村 浩延
		本田 篤	五十嵐昭夫	星 孝司
		住安 孝夫	浅井 守雄	大塚フミ子
庁舎再編整備調査特別委員会	11人	◎ 森山 英敏	○ 関矢 孝夫	渡辺 一美
		大桃 聡	星野 武男	星 吉寛
		森島 守人	岡部 忠好	大屋 角政
		榎本 春実	佐藤 守	
復興基金事業調査特別委員会	23人	◎ 住安 孝夫	○ 星 孝司	遠藤 徳一
		渡辺 一美	佐藤 肇	大桃 聡
		関矢 孝夫	佐藤 雅一	星野 武男
		高野甲子雄	星 吉寛	下村 浩延
		本田 篤	森島 守人	森山 英敏
		五十嵐昭夫	岡部 忠好	大屋 角政
		榎本 春実	佐藤 守	浅井 守雄
佐藤 貞一	大塚フミ子			

# 市民の声

## 子供は地域の宝



竜光 下村英二さん

私が住む地域では、今年度小学校に入学する新一年生がいませんでした。かつては小学校があった地区です。少子化という言葉を実感する出来事でした。

子供がいなくなれば、地域の核ともいえる学校がなくなってしまうます。高齢化が進み、まさに『限界集落』へまっしぐらです。

国も担当大臣を据えて問題解決に取り組んでいるようですが、施設や環境の整備だけでなく、子供がいるとこんなにいい事があるという具体的な例

を示さなければ効果は期待出来ないと思います。

『子育てするなら魚沼市』と言われるような大胆な施策に期待します。また行政だけでなく地域レベルでも子育て支援について考えてもらいたいと思っています。



## 議会に望む事



松川 大塚宏美さん

9人の新人議員が加わり24人の新たな議員での議会が始まりました。今

回の一般質問に新人議員全員が質問されていた事は単なる支援者へのパフォーマンスではなく新しい風が入った議会になると期待しています。

魚沼市は病院問題、庁舎のあり方、復興基金水資源確保事業、市の財政問題等課題が多くあります。山積する課題を一つずつ解決し市民が必要と思う議会、市民から信頼される議会になってほしいと思っています。それが合併してもずっと住み続けたい魚沼市になり、元気ある魚沼市につながると思います。



## 議会を傍聴してみませんか



## 市議会ホームページを「ご覧ください」

魚沼市のホームページに、市議会のページを開設しています。

議会の構成、議員の紹介、議会の日程、本会議や特別委員会、協議録、議会だよりを掲載しています。どうぞご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.city.uonuma.niigata.jp/>

## 「市民の声」の原稿を募集します

- 字数3000字程度
  - タイトル
  - 住所・氏名
  - 顔写真
- を同封の上お寄せ下さい。  
送り先

魚沼市議会事務局  
(魚沼市今泉  
1488番地1)

市議会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。

定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

## あ と が き

市の厳しい財政の影響で、今回の議会だよりからカラー印刷をやめたり、ページ数を減らしたりと節約型の構成となりました。しかし、内容は各議案に対しての賛否を新しく載せました。また、今回初当選した議員全員が一般質問をされたのでご覧ください。このたよりが皆様に届くころには小出祭りの真っ最中ではないでしょうか。もっと早くと考えていますが市だよりの配布と合わせる事になっていきますのでこれが最速です。

衆議院が解散され8月30日が投票日です。市議選と同じように多くの方が投票に行ってください。国の政治が良くなると日々の生活も良くなりませので大切に行使してください。

(森山英敏)